

令和8年1月28日

保護者の皆様

京都市立岩倉北小学校
校長 五反辰彦

安心・安全な学校づくりのための登下校門一本化について

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校では、児童の安全確保をさらに高めるため、令和8年4月1日(水)より、登下校に使用する門を「正門」に一本化することといたしました。

下記の図は、複数の児童が利用している青門から正門までの距離(約160m／徒歩約3分)を示したものです。

■ 青門(グラウンド側の門)→正門 の位置関係(約160m)



■ 一本化の主な理由

① 見守り体制を確実にするため

現在、登校時(8:10~8:30)と下校時(14:30~/火曜 13:30~/)に正門と青門を解放し、正門に学校長、青門に管理用員が立って見守りを行っています。しかし、毎日必ず2名が配置できるわけではなく、見守りに偏りが生じる恐れがあります。

② グラウンド使用時の安全確保のため

火曜日は1年生が4時間授業のため13:30に青門を解放していますが、同じ時間帯に3年生以上がグラウンドで授業を行うことがあります。門が開いていると外部からの侵入の可能性があり、児童の安全面から、授業中に門が開いている状態は避けたいと判断しました。

③ 今後の具体的な流れ

○1月28日(水) 現在青門を使用している児童への説明及び保護者の方へすぐる配信する。

※青門から正門までは約160mの距離があります。現在青門を利用している児童には移動負担があるため、学校長が直接説明し、理解を得たうえで一本化を進めたいと考えています。

○2月2日(月)の全校集会で全校児童に学校長から説明をし、学校だよりも伝える。

○2月26日(木)の入学説明会で、次年度入学予定の保護者にも伝える。

○令和8年4月より登下校の門については「正門」に一本化する。

※児童の登下校で青門を使用しないことについての承認済みです。区民運動会・防災訓練等の地域行事で使用される場合は代表者の管理のもとで開門する場合があります。